



第50号

発行日

2017年1月15日  
《隔月15日発行》

# 石産協通信

sekisankyo tsuushin

石を愛するコミュニティ



一般社団法人

日本石材産業協会  
The Japan Stone Industry Association東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階  
Tel:03-3251-7671 Fax:03-3251-7681  
http://www.japan-stone.org/  
企画・編集・発行:広報委員会

## 夢のバトン

### あなたの夢はなんですか？

苦しいとき、下を見がちになりますが、今だからこそ前を向くときではないでしょうか。

苦しいとき、辛いときも夢があれば前に進めます。何か夢を抱いてみませんか？

決して大きな夢でなくても、何かが変わる気がします。

今号では、立場や年齢、性別、業種に関係なく、できるだけ多くの方にたくさん夢を語っていただきました。

みんなで語る夢のバトン、つなげてみませんか？

### 2017年度の抱負

## キーワードは「尊重」。心を合わせ、 団結し、未来を切り拓いていく。



### 会長 射場一之

世の中は驚異的に、劇的に変化しています。石材業界を100年後に残す——そのためのキーワードは「尊重」です。同じ価値観を敬うのが尊敬、違う価値観を敬うのが尊重です。当会は日本各地から多彩な世代が集っています。ひとことに会員といっても、年代も異なるし、様々な考えの人がいます。意見の違いはあって当然です。しかし、それを乗り越え、心を合わせ、団結していくことで、業界の未来を切り拓いていきたいと思えます。

ジグソーパズルのピースは、まん丸だとつなげられません。「軸がある人」と、「自己チュー」の違いは、相手を認めることができるかどうかです。プライドとは何があっても傷つかないもの。傷つかなければそれは、見栄です。

共通の価値観と信頼関係で結ばれた石産協というコミュニティこそが、お墓離れを「結果」ではなく「過程」にできる。石という素材の持つ魅力と多様性、可能性を伝えることができる。私はそう信じています。

## 石工女子の夢



私は藤井遙香と言います。現在、京都の北尾石材にお世話になっています。今の石材店にお世話になる前は、大学を卒業してから健康診断を請け負う会社に就職し、法人担当営業をしていました。転機となったのは、2年前の父の死でした。私の両親は、私が中学2年生の時に離婚し、父とは月に一度会う程度で、思春期とも重なり、正直父が嫌いでした。そんな父でしたが、亡くなってからは、仕事が手につかず、父と向き合えなかったことをとても反省しました。そんな時に、お墓参りをすると何か父と会っている感じがしました。「亡くなった人のために仕事がしたい」この感情が私の心を揺れ動かしました。父のお墓に行った時、北尾石材さんが仕事をしている姿を偶然見つけました。水野社長に働きたいことを伝えると、「続かわからへんけど、来てみ」と言っていただきました。この出会いがきっかけで、今では、師匠であり、お父さんとして精神的な支えになってくださる水野社長のところで働くことができました。



ふじい はるか  
藤井遙香

26歳 京都府長岡京市  
在住、京都生まれの京都  
育ちです。水瓶座、O型、  
彼氏募集中！マイブームは、御朱印集め

〈P2へつづく〉

# 日本石材産業協会の歴史 『創設当時の想い、 そして夢』



設立準備委員会

当会は、2001年11月1日、会員数450名よりスタートしました。  
創設にかけた想いを初代会長の井口健二氏、裏方で支えた一人、川本恭央氏に伺いました。

〈定款抜粋〉 (目的) 第3条 本会は、石材産業の健全な発展と更なる向上を図ると共に、  
新たな石文化の創造に努め、もって社会に貢献することを目的とする。

**川本** 全国で活動している石材業界の8団体がまとまることでスタートした当会ですが、共通の目的はどこにありましたか？

**井口** 定款第3条にも謳っていますが、この目的に賛同してくださった人が、現在の協会を構成しています。例えば、採石業者と石材輸入業者では、相反する形で存在していても、業界や社会貢献のためにひとつになることです。

**川本** 業種でまとまる団体はいくつもありますが、他団体と異なる点は、このところですね。関連業者にも賛助会員ではなく、議決権を持たせている点もこの理念のためですね。お墓ディレクター資格もこの理念がいかされましたね。

**井口** そう、会員だけの資格とする意見もありましたが、社会に貢献するという目的から、会員に限らず石材の仕事に携わるすべての方の受検も認めました。振り返ると、いまでもこの決断は良かったと思います。

**川本** 今後の当会の姿について、思いはどんなところでしょうか？

**井口** 私は、同じ目的をもってくださった人に当会の理解を深めてもらい、乗り合わせた電車から途中下車しないことに努めてきました。射場会長には、この電車に乗った人をより良い方向に走らせていただきたいと思います。

〈設立経緯〉日本石材産業協会は、下記の8団体による設立準備委員会によって設立されました。

日本石材協会、全国優良石材店の会、全国石材技能士会、全日本石材振興会、日本輸入石材商社会、全国石材産業総合研究会、全国青年石材連絡協議会、JC石材部会



設立時の案内チラシ



初代会長 井口健二氏



川本恭央氏



## 女子だからできること

休みの日に納骨袋を作っています。サラシの生地を裁断してミシンで縫って、今まで50枚ほど作りました。納骨袋は人が最後に身にまとう衣だと私は考えており、それを作る仕事を社長が私に与えてくださったことがとてもありがたく、安らかに眠っていただければと考えながら作っています。私の夢は、「石を通じて人々のいろいろな想いをかたちにする一流の石工職人になる」ことです。「ここまでやってくれるんや」相手が満足してくださる仕事を心がけています。

### 《取材を終えて》

見た目も口調も普通のOLさんの印象でしたが、話してみると、体力的なことでも女子的に扱われることが嫌と話す通り、芯の強さを感じました。同時に、「脚にぶつけた青あざができて、スカートがはげないです(>\_<)」、「ネイルもしてなくて」といった、かわいらしい乙女心をのぞかせる石工女子でした。



▶広報委員会では、現場で働く石工女子を募集しています。自薦他薦は問いません。ご連絡お待ちしております。(推薦状同封)



かわだ あつし  
**河田 篤**さん

埼玉県  
(株)大塚 営業部

## 安心を届け、供養の心を大切に 墓石建立のお手伝い

今年の私は、ご縁を戴いた全てのお客さまへ墓石の持つ安心を届け、供養の心を大切に伝えていきたいと思えます。

近年、石材業界を取り巻く環境は大きく変化しています。「お墓離れ」や「墓じまい」と言ったワードを頻繁に耳にするようになり、お墓を新たに設けることが第一ではない方も増えていると感じます。多様化する時代の中でもお墓という手を合わせ、故人を偲び、ご先祖様へ感謝を伝え、家族繁栄を願う場となる存在は、安らぎを与えてくれる大切なものと私は考えます。

お墓を通じてご縁をいただいた全てのお客さまが、「安心して供養ができる」「ご先祖様も喜ぶ」そういった心を抱き、墓石建立という大仕事のお手伝いを続けさせて戴くことが私の目標であり、夢になります。



みわま お  
**三和磨生**さん

東京都  
(株)安藤大理石  
代表取締役社長

## いい会社にする!

2015年8月、代表取締役社長に就任時、社員に「いい会社にしたいです」と言いました。

「いい会社」いろいろ定義はあると思いますが、社員がイキイキしている会社って私は「いい会社」だと思っています。たくさん給料がもらえれば社員もイキイキしますし、達成感ややりがいのある仕事、有名な建物の建築に携われることは、やる気やモチベーションにもつながります。また社員からたくさん提案や意見が出て、言いたいことを発言できる会社って「いい会社」だと思っています。

私の夢は安藤大理石を「いい会社」にすることです。社員の働きやすい環境を作ることは社長である私の役目だと思っています。社員が将来この会社で働いていて本当に良かったと思える会社になりたいです。



たか はし けん た  
**高橋健太**さん

岡山県  
(有)武田石材  
代表取締役社長

## 万成石の 魅力を伝えたい

今後、お墓の建立本数が激増することがない中で生き残っていくためには、やはり石の魅力をエンドユーザーの方々に知っていただくことが大切で、僕の場合だと「万成石」の魅力を広め、認知度を高めていくことが一番大切だと考えています。その為、昨年は「万成石」のプレスレットや勾玉、念珠などエンドユーザーが気軽に手に取って、購入できる商品を作り販売しました。この商品を購入したお客さまが万成石の存在を知り、魅力を感じてもらえば将来お墓を建てる時に「万成石」が候補の一つに挙がるかもしれません。

今までとは違う角度からの営業活動だと思い取り組んでいます。簡単なことではないですが、エンドユーザーから万成石を選んでもらうというのが究極の理想形です。

勿論今年も新商品の開発に取り組んでいます。そして、もっともっと一般の方々に石を身近な素材として感じてもらい、石の魅力を知ってもらえるように小売店、石材商社の方々と一致団結して頑張っていきたいと思っています。

# わたしの夢

この想いを夢のバトンに託して、  
出来るだけ多くの人に手渡したい。



つぼ い きよ まさ  
**坪井清正**さん

福島県  
(株)イシフクフタバ

## ワイヤーソーを極める

入社8年目、丁場職人としてはまだまだ若手です。ワイヤーソーはブリーアのセッティング、ワイヤーのかけ方、水加減、ワイヤーの速度、機械の移動速度などの調整ができるので、無数の組み合わせが選べる代わりに、現在のワイヤーの状況と石の状態に対してどの組み合わせが最適なのかを見つけ出すのが難しいです。石がうまく切れているように見えていても、まだ本当の最適な状態じゃないのかもしれない。

今年もっと勉強してもっとうまくワイヤーソーを使えるようになりたいと思います。あと、火薬類取扱保安責任者の資格がまだ取れていないので、頑張って勉強して資格を取りたいと思っています。

茨城県支部訪問

# 茨城の石は、えがっぺよ

現在、支部では月に数回の熱い議論が交わされています。議題は、県産の石材を一才でも多く販売することです。

議論の始まりは、稲田、羽黒、真壁という日本でも有数の銘石の産地であるにも関わらず、県内の石材店が積極的にその販売に力を入れようとしなかったことでした。茨城産の石材に限らず、国産材の販売が減少している理由は、安価な外国材へのシフトでしたが、押し返そうとする熱意が当時は薄れていました。

## 価格競争で勝てるわけがないから、やっても無駄

売れない理由を外部に作らず、自分達の行動不足の認識を皆が共有出来るまで議論しました。そして、茨城産石材の良さをアピールするために、販売店への説明訪問を積み重ねました。

## 激熱議論

意見がぶつかることは多々ありましたが、みんなが結束する上で大切な過程でした。現在、少しずつではありますが、成果が見えようとしています。こうした前向きな議論、小さな活動の積み重ねを数年で終わらせず、何十年と長く続けたいと思います。



茨城県支部長 堀 義己

## 現在、支部では具体的な活動目標を決めています。

1. 支部会員を現在の81名から100名に増やす。
2. 定期的な講習会を開き、勉強する。
3. 支部会費を募って支部ホームページを開設し、支部活動を掲載する。
4. 真壁高校石材コース全国公募を石材業界の将来のためにも全面的に支援する。

# 真ッ高勝負!!

ここが、茨城県立真壁高等学校“石材コース”の魅力!



〔取材協力〕左から齋藤伊佐夫教諭／植木邦夫校長  
実務指導者：浅賀正治氏（茨城県支部会員）

## Q 学校の良さは何ですか？

本物の素材の大切さを学ぶことが出来ること。頭の中で考えるのではなく、地場の素材(げんそざい)を触ることで、その大切さがわかることだと思います。

## Q 生徒さんは興味を持って授業に臨みますか？

石材コースに来る生徒で石材について知っている子はほとんどいません。知らない世界だから興味を持ち始めます。理屈よりも手を動かすことで、何かを見つける。硬いものをたたくことは、競争したら勝てたいとか、何かに落書きをしたいのと同じ本能であり、自然に興味を持ちます。

## Q 生徒さんに学んで欲しいことは何ですか

教育は目先ではなく、数年後になって、学んだことが財産になることを目指しています。

## Q 校長先生の将来の夢は何ですか？

高校の授業の中で、石材コースがあるのは全国で本校だけです。昨年度より全国から生徒募集を始めました。未成年の生徒を親元から離すため、寄宿舎や身元保証人などのハードルがありましたが、ようやくスタートすることができました。石屋の街だから、若い人が学びに来ることで街の人が誇りを持って、自分達を認めてくれたと思うことが出来ます。石材を学ぶ生徒がたくさんこの街にやってくるのが、私の夢です。



創立：1909年  
普通科、農業科、環境緑地科、食品化学科があり、環境緑地科の中に石材コースがあるのは全国で本校だけである。部活動が盛んで、ライフル部、馬術部、パワーリフティング部は全国レベル。



## いばらきの味

そば処 筑膳 tel.029-866-0068  
つくば市沼田1441-1(つくば駅より車で30分)

筑波山に登る途中にこの店があります。築100年古民家を移設したこの店は、囲炉裏のある和室など落ち着いた雰囲気があります。石臼で挽いた蕎麦は風味豊かな味わいをもたらします。今回いただいた天ざる蕎麦は、その舌触りもさることながら、ボリューム感に驚かされます。茨城職人の小粋さを感じる一品でした(^\_^)

## 東北地区全体会議 in 宮城

会期:2017年2月16日(木)・17日(金)  
宮城県仙台市

東北地区各支部の活性化と会員相互の交流を目的とし開催します。お墓の本質を見つめなおし、お墓の必要性を再確認することで自社の経営の一助になるような勉強会を企画しています。すでに地区会員にご案内しておりますので、ふるってご参加ください。(詳しいご案内・申込み書は当会ホームページをご覧ください。)



東北地区長 瀬川賢考

## ジャパンストーンショー ロゴマーク決定

公募により、ロゴマークが決まりました。運営委員会では石材業の発展を目的とし、みなさまのお役に立つようなイベント、セミナーを企画中です。詳細が決まりましたらご案内しますので、ぜひご来場ください。開催日8月23～25日。[運営委員長 井口健二]



## 第8回 定時総会開催決定!

日時:2017年6月22日(木)  
場所:第一ホテル東京シーフォート

テーマは、「業界の未来に向かって自らできることを考えてみよう!」シナリオ・プランニングで描き出した10年後の未来を、テーブルごとのチームでディスカッション。総会資料(2016年度報告)を参考に、自分が、何ができたのかを振り返り、さらに、2017年度の計画を実行するために、自分に何ができるのか?を考え、みんなで、2時間30分の討論会を実施いたします。総会は2016年度決算・事業報告、2017年度予算・事業計画について審議していただきます。協会運営のため、会員が議決権をもって参加する意義のある総会ですのでご出席ください。詳細は、次号発送のリーフレットでご確認ください。



リーフレット(制作中)

## 加工・採石・関連部会合同

## 第7回 石材加工講習会

会期:2017年2月25日(土)  
熊本県熊本市

部会で協力し、毎年継続した事業を行っています。今回は初の九州開催。現場での対応力を養い、日々の仕事に役立てることを目的に大規模な地震被害が発生した熊本で行います。短時間ではありますが、技術レベルを上げるきっかけにし、参加者同士の交流を深める場に活用してください。若手石工、従業員の参加歓迎です。定員に達し次第、締め切ります。人気の講習会ですので、お早めにお申込みください。(案内及び申込書同封)

[加工部会長 大川弘展]



## 墓石部会

## 業界初! 墓石地震保証 サービスが始まります。

墓石の販売(引き渡し)から5年以内に地震で倒壊した場合の修理または再購入費用の「割引」を行うことを保証します。墓石部会で長い間年検討してきた業界初の墓石地震保証は、2017年2月1日スタートです。当会員に限り発売されるものですので、ぜひご検討ください。(案内同封)



墓石部会長 佐野雅基

## PRAY for (ONE) 協賛団体募集中

祈り鶴、広げませんか! 英訳ホームページ、パンフレット製作中。海外発信していきます。

Webサイトにアクセスして下さい!! <http://prayforone.jp/> PRAY for (ONE)



## 新入会員紹介 会員数:1,247名(2016.12.6現在)

### 山梨県

(有)依田石材店

会員代表:長田教義

設立:昭和4年10月

業種:加工、墓石

### 和歌山県

(有)汐入橋石材

会員代表:尾屋徳久

設立:平成15年4月

業種:墓石

### 兵庫県

(株)西村石材店

会員代表:田中貴章

設立:平成元年8月

業種:墓石

### 鳥取県

(有)花原石材店

会員代表:花原辰徳

設立:大正8年

業種:墓石

# ストーンアシスト in Osakaを終えて…

会期:2016年11月23日(水・祝)・24日(水) 会場:ツイン21 MIDタワー20階 来場者:281名

関連部会が企画・運営する会員向け専門展示会、第2回のストーンアシストは、初日189名、2日目は92名の来場者が訪れ、盛大に展示会を開催することができました。これもひとえに会員、出展業者、近畿地区長・地区支部長のおかげと実行委員会を代表しまして、感謝申し上げます。

2回目となった今回は、展示会場を大阪ビジネスパーク/ツイン21MIDタワー20階の会議室で設営し、展示会テーマを「お墓のリフォーム」として実施しました。出展業者30社が展示・紹介する内容はもちろんのこと、イベント企画として「お墓のリフォーム」、「接着剤と補強・補修の基礎知識講座」、さらには出展業者セミナーを「墓石クリーニング」などとし、テーマに即した内容をご用意しました。また、今回のストーンアシストは、近畿地区全体会議と同時開催することで、会議や懇親会に参加した多くの近畿地区会員にも来場いただきました。来場者アンケート結果に基づき、次回のストーンアシスト開催に向け、さらなる検討を重ねていきます。

今後も関連部会としましては、「石屋さんを元気にする企業集団」を目指し、第3回ストーンアシスト開催に向け、さまざまな企画をいたします。どうぞご期待!! [関連部会長 竹ノ内壮太郎]

### [ストーンアシスト2016 in Osaka] 来場者アンケート集計結果

Q1:開催することをどちらで知りましたか。  
石産協通信21 会員FAX7 支部情報5  
取引先14 業界誌14 その他7 回答なし1

Q2:展示会テーマに関して  
満足19 やや満足15 どちらとも14  
やや不満1 不満0 回答なし5

Q3:見学した企業・団体の展示・出展内容及びイベント企画内容に関して  
満足18 やや満足23 どちらとも9  
やや不満2 不満0 回答なし3

Q4:展示会場の交通アクセスや全体レイアウトなどに関して  
満足27 やや満足12 どちらとも9  
やや不満5 不満0 回答なし1

Q5:展示会開催時期や日程、時間帯など  
満足24 やや満足19 どちらとも11  
やや不満0 不満0 回答なし1

Q6:展示会実行委員会スタッフや出展業者スタッフの対応に関して  
満足31 やや満足16 どちらとも6  
やや不満0 不満0 回答なし1

Q7:次回もこのような石産協の展示会イベントに参加したいと思いませんか。  
参加したい49 どちらともいえない6  
参加したくない0

ご意見、ご要望を自由にお書きください。  
●会場が少し狭い、もう少し展示があってもいい  
●加工講習会などの実演、工具の使い方が希望  
●また開催してください。  
●会場は高層階でなく、入り易いところがいい  
●ブースが小さい方が無駄な展示が無くてよい  
●もっと出展者を出してもらいたかった



会場風景



本部展示コーナー



ブースイベント



本部ワーク「地震発生」その時、石材店はどう対応するか。



勉強会の様子



業者セミナーの様子

## 近畿地区全体会議 in 大阪

会期:2016年11月23日(水・祝)・24日(水)

会場:ツイン21 MIDタワー20階

春先より、近畿地区支部長会議と平行して進めて参りました『2016年度近畿地区全体会議』が、11/23・24の両日関連部会主催の『ストーンアシストin Osaka』と共催で行われました。昨年度は、定時総会を初めて東京以外で開催、また今年度は、地区会議の開催と、各支部長はじめ、かかわっていただいた近畿地区の役員の方々、関連部会、次世代共育委員会の方々には、大変時間と労力をお掛けいたしました。

みなさんの協力があってこそこの地区会議であったと思います。当初、『ストーンアシスト』との共催ということで動員については、心配もしていなかったところ、開催まで1ヶ月を切っても、思いのほか参加者が増えていないことに驚き、増員に向け各支部長にはご負担をお掛けしてしまいました。なんとか地区会議には、60名弱の出席、懇親会には120名弱の参加をいただいたことを大変感謝しております。

今回の地区会議は、『ストーンアシスト』を含め、業界の資質の向上と技術の向上を目的とした内容となりました。大懇親会では会員相互の交流と親睦のために楽しんでもらったことを大変喜んでおります。また、翌日の大阪城石垣ツアーへも20名強の参加をいただき、ガイドの梅林氏も我々石のプロからの話も聞けて逆に喜んでおられました。

[近畿地区長 水野充弘]



近畿地区全体会議



大懇親会



水野地区長



大阪城石垣ツアー



大阪城石垣ツアー



お墓ディレクター  
NEWS

# 今年も、間もなく開催!! 第13回お墓ディレクター検定試験

「第13回お墓ディレクター検定試験」が1月25日(水)に全国7会場にて開催され、1級、2級あわせ約450名の方が検定にチャレンジされます。委員会メンバーも全国の会場で受検サポートをさせていただきます。  
 昨年は変化する現代の先祖観に悩まされながらも一般消費者のみならず向き合うことで、お客さまが何を望まれているのかを常に考え学んで行くことの大切さを痛感した1年でした。どうしたらお客さまの心の声を聴き、応えることができるのか。その答えのひとつとしてお墓ディレクター資格はあると思います。資格は取得したら終わりではなく始まりです。資格を大いに活用していただけるように、研修会ははじめ、色々企画しますので楽しみにしてください。  
 [お墓ディレクター委員 小野純子]

## 第9回お墓ディレクター 資格更新・手続きについて

認定番号をご確認ください。今回は06-または11-で始まる方が対象です。対象者には手続き書類をお送りしています。1月末までにお手元に届かない方は石産協事務局まで至急ご連絡ください。更新申請期限:2017年3月31日(金)※当日消印有効

## お墓ディレクター1級取得者研修会(取得者限定50名)開催告知



長澤住職

日時:2017年3月6日(月)13時~17時  
 会場:エッサム神田ホール2号館(東京都千代田区)  
 テーマ:「現代の先祖観に、どう立ち向かうか!?!」  
 第1部:「今、先祖観を問う~埋葬の歴史と現代社会~」長澤宏昌氏  
 第2部:トークディスカッション「現代の先祖観に、どう立ち向かうか」  
 パネリスト:長澤宏昌氏(日蓮宗 鶴飼山遠妙寺 住職)  
 射場一之氏(射場石利石材株式会社 代表取締役)  
 二上昌弘氏(株式会社二上家 代表取締役)



オプション研修  
 今話題の納骨堂  
 「伝燈院 赤坂浄苑」見学  
 3月6日(月)  
 10時30分~11時30分  
 (当日現地集合)

## 輸入卸商部会

### 日中墓石交流会

日時:2016年11月20日(日)  
 場所:中国福建省崇武

日本側は11社、16名、中国側主要メンバーは23社、29名、その他オブザーバーが多数出席しました。  
 福建省では業界団体に加盟している会社の数が非常に減っていることや労働環境に対する規制が2017年から厳格に施行されるなど厳しい情勢だということが中国側から報告され、日本側からは「墓地墓石の需要」などのデータや部会独自で集計した「いわゆる多くの方達を納骨できるお墓」の2013年から2015年までの納入実績(件数、切数)を発表し、意見交換を行いました。  
 また福建省石材協会の秘書長と惠安県の副県長にもご参加いただくなど盛大に行われました。  
 [輸入卸商部会長 望月秀康]



## 関連部会

### シナリオ・プランニングの 取り組み

2016年度第2回常任理事会(12月6日/東京にて開催)では、「70歳以上・35歳以下の消費者・お寺関係・業界内での違った立場」等、異なる立場設定での対話ワークで、全員で発言をおもいきりすることができ、たいへん盛り上がりました。その上で、「うまくいくと起こりうること」「下手をすると起こりうること」を発想豊かに出したうえで、明日からの各自の取り組みを考えました。  
 1月28日・29日シナリオ・プランニング北木島合宿(参加者募集中)では、不確定な重要な要素から、最悪から最高までの10年後の未来をしっかりと見る場をつくりまします。  
 さて、あなたは、今、日本の石材業において、どのような未来の可能性を描くことができるでしょうか。そして、自らの事業のため、そして次の世代のために、どんな一歩を踏み出しますか?  
 [関連部会長 竹ノ内壮太郎]



## 次世代共育委員会

### 「若手石材人向けセミナー」 開催!

去る11月23日、「ストーンアシスト2016 in Osaka」にあわせまして「若手石材人向けセミナー」を開催しました。  
 今回のセミナーでは香川県庵治産地の有中村節朗石材・中村卓史さん(40歳)、岡山県岡山市の株ファイング・川上明広さん(42歳)を講師に迎えて企画!中村さんからは墓石の小売営業経験等をもとにした石(庵治石)の魅力を知っていただくための取り組み、地域・産地・業界の活性化に向けて力を注いでいることなどについて、川上さんからは墓石小売業・葬祭業を展開している現在の取り組み、さらに葬祭業を行なうことを見てきた石材店(石材業界)の可能性などについて、語っていただきました。お二人の独自の視点・実践内容は大変興味深く、これからの業界展望や石材店ができる具体的な取り組み等について共有できる有意義な機会となりました。  
 次世代共育委員会では今後も若手石材人が元気になる企画を行なってまいりますので、みなさま、ぜひふるってご参加ください!  
 [次世代共育委員長 山口康二]



# “当会発行の「石材産地証明書」の偽造書類が存在する”



〈偽〉産地証明書



〈正〉産地証明書

今年9月下旬、会員からの一報で“石材産地証明書の偽造証明書”の存在が明らかとなりました。すでに「月刊石材」(石文社)・「日本石材工業新聞」(日本石材工業新聞社)の紙面記事で詳細は告知されておりますが、当会員が発行した「石材産地証明書」の紙面を、何者かが似たような台紙にコピーして作成されており、ご丁寧にシリアルナンバー(通し番号)まで入っているものでありました。その後、シリアルナンバーから原本となった証明書記載の原石業者は判明しましたが、結局シリアルナンバーを管理していなかったため、どのルートから偽造者の手に渡ったのかは追跡不可能となってしまいました。写真を見てもお分かりのように、並べてみれば台紙のデザインなどで違いは一目瞭然なのですが、使用したことのない業者や一般消費者では見分けることは不可能であります。当会としてはこれ以上“偽造証明書を作らせないこと”“流通させないこと”を喫緊の課題と考えております。当会事務局ならびに関係役員も再発防止に向けて対策を協議してまいります。会員のみなさまにおかれましては以下のことに留意をお願いいたします。

- ①【交付する側】シリアルナンバーを始めとする、発給規定を遵守する。
- ②【卸業・小売業】受領した石材産地証明書の紙面・状態をよく確認し、万一不審な点があった場合、当会事務局へ問合わせ、場合によっては顧客への引渡しを中止する。石材産地証明書は、『石材のトレーサビリティ』として、われわれ石材業界と消費者を縦断して結ぶ「一本の糸」であり、“信頼の証”であります。そこに今回のような不正が行われれば、これまで諸先輩方が営々と築き上げたものまで全て無にしてしまいます。石材業界の信義信頼を守るため、ご協力をお願いいたします。  
[社会調査委員長 柴田 清]

## 石産協通信 プレイバック



石産協通信今昔



会員有志による封入作業

おかげをもちまして、創刊50号に到達しました。いつもご愛読ありがとうございます。石産協通信の歴史をたどると、2009年7月に一般社団法人を設立した年の2009年9月1日に記念すべき第1号が創刊され、およそ7年が経過し、今号に到達しました。会員のみなさまに「協会の活動をもっと知ってもらいたい、伝えたい」との思いから、始めた通信ですが、50号を迎えて、感無量の創刊となりました(>\_<) 第1号は、限られた予算内での発刊のため、原稿の作成から行い、印刷はもちろん白黒、事務局内の印刷機でされ、三つ折り作業も手作業でした。こうした手作業の努力は今も引き継がれています。現在のフォームには2013年1月の26号から、広報委員会が編集を担当することになりました。

- ①カラー印刷で、読みやすい紙面に。
- ②奇数月15日を発行日に決定することで、活動の案内がしやすくなりました。
- ③39号より編集長持ち回りで、各号ごと編集長カラーに。
- ④開封せずとも到着がわかるように半透明封筒でお届け。
- ⑤広告を募り、通信に同封することで、会員の利便性と運用収入をアップ。

◎石産協通信は、会員の情報から出来ています。あなたの情報待ってまーす。最寄りの情報、ご意見、ご要望がありましたら、事務局までお願いします。[広報委員会]

## 事業案内 2017 2017年1月~3月

ホームページにカレンダーが表示されています。

1月24日(火) 東京都 第6回 正副会長会議	1月25日(水) 全国7会場 第13回お墓ディレクター 検定試験	2月14日(火) 東京都 第3回 理事会	2月16日(木)・17日(金) 宮城県仙台市 東北地区 全体会議in宮城	2月25日(土) 熊本県熊本市 石材加工 講習会	3月6日(月) 東京都 お墓ディレクター1級 資格取得者研修会	3月7日(火) 東京都 第7回 正副会長会議
----------------------------------	---	-------------------------------	---	-----------------------------------	--	---------------------------------

## 委員会・部会活動

2017年1月~3月

1月25日(水)	東京都	ジャパンストーンショー運営委員会	2月13日(月)	東京都	輸入卸商部会
1月26日(木)	東京都	お墓ディレクター委員会	2月14日(火)	東京都	顧客満足推進委員会
1月28日(土)29日(日)	岡山県北木島	シナリオ・プランニング合宿	2月15日(水)	東京都	公正競争規約検討特別委員会
2月8日(水)	東京都	広報委員会	2月15日(水)	東京都	シナリオ・プランニング/関連部会